

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境・ 社会・ 経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組(「3R」の徹底) ・温室効果ガス排出量Scope3カテゴリ5の集計・管理											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組み(電力使用量の削減) ・エネルギー使用量2030年度までの毎年度、前年度比2%の削減目標を設定							○							○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・2030年度中間削減目標、2050年度目標を設定 Scope1+2およびScope3カテゴリ1~14 2030年度:▲50%(2020年度比) 2050年度:ネットゼロ							○						○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組み(グリーンマーク商品の購入徹底、印刷物作成時の環境配慮の徹底)			○			○					○	○							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組み(グリーンマーク商品の購入徹底、印刷物作成時の環境配慮の徹底、3Rの徹底) ・職員参加型社会貢献活動「アマモ場の保全・再生活動」「クズ科植物の除去作業」を通じて生物多様性の保全活動を実施						○										○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組み(水道使用量の削減・節水の徹底)						○													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○				
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ホームページ、統合報告書、サステナビリティレポートにて開示												○							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・保有する投資用不動産について再生可能エネルギーへの切替を実施							○							○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○				
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・「朝日生命エコプロジェクト」の推進による、環境に配慮した行動への取組(「3R」の徹底)						○					○	○	○	○	○				
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「コンプライアンス基本方針」および「コンプライアンス遵守基準」を制定し、「コンプライアンスマニュアル」への掲載や研修等により周知徹底																	○		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・「コンプライアンス基本方針」および「コンプライアンス遵守基準」を制定し、「コンプライアンスマニュアル」への掲載や研修等により周知徹底																		○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・「コンプライアンス基本方針」および「コンプライアンス遵守基準」を制定し、「コンプライアンスマニュアル」への掲載や研修等により周知徹底								○	○										
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「お客様情報・個人情報・特定個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護方針」に基づくお客様情報の適正な取扱い・管理の徹底 ・「コンプライアンス遵守基準」に定め、定期的な社内検査・監査の実施および教育・啓発活動等により情報管理の徹底を図っている																		○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・紛争鉱物の取扱いは無い																		○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・2023年4月制定の「朝日生命グループ人権方針」に基づき、「人権デュー・デリジェンス」「取引活動におけるガイドライン」により定期的な確認を実施					○		○			○		○	○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	環境・ 社会・ 経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・ サービス	28 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・「お客様の声」を経営に活かす仕組みとして、「お客様満足向上委員会」を設置し、迅速に経営に反映 ・「お客様満足度調査」の継続的な実施や苦情分析等によりお客様サービスを改善			○									○							
	29 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・「お客様の声」を経営に活かす仕組みとして、「お客様満足向上委員会」を設置し、迅速に経営に反映 ・「お客様満足度調査」の継続的な実施や苦情分析等によりお客様サービスを改善									○										
	30 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・クリアファイルの素材をプラスチック製品から、FSC認証済みの紙で製作された紙製ファイルに順次切り替え ・保険証券等を保管するファイルの素材を塩化ビニルから、環境にやさしい素材のポリプロピレンに変更 ・窓あき封筒部の窓部分を「セロハン」から「グラシン紙」へ順次変更						○						○	○	○	○				
	31 【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・医療保険、介護保険等のラインナップ充実による、公的保険制度の補完	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会 貢献・ 地域 貢献	32 【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・乳がんの早期発見・早期治療に関する啓発活動「ピンクリボン運動」を推進 ・「認知症バリアフリー宣言の試行事業」に賛同し、認知症バリアフリー社会の実現など健康長寿社会における課題解決に取り組むことを宣言 ・県内における、信玄公祭りへの出陣、扇子・カレンダープレゼントの実施				○					○		○	○			○	○		○	
	33 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・毎年7月に全役職員等による「朝日の月」給金を実施し、社会福祉等の分野で活動する団体へ寄付を実施(2025年度で68回) ・日本ユネスコ協会連盟の維持会員として、「世界寺子屋運動」等へ支援				○							○				○	○		○	
	34 【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済										○	○		○	○						
組織 体制	35 【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・「コンプライアンス基本方針」および「コンプライアンス遵守基準」を制定し、「コンプライアンスマニュアル」への掲載や研修等により周知徹底																	○		
	36 【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・トップからの発信、タウンホールミーティングの他、管理職向け研修、動画視聴、社内通知・お知らせ、社内報により浸透を図っている									○	○								○	
	37 【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・コンプライアンスマニュアルによる継続的教育、e-ラーニング・研修・会議時等の継続教育を実施 ・「不祥事故判定基準および懲戒処分基準」を整備 ・内部通報相談窓口の設置																		○	
	38 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・社長が委員長を務めるサステナビリティ経営推進委員会を設置 ・サステナビリティ経営専任部署:経営企画部 ・CSR専任部署:調査広報部																		○	
	39 【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・社長が委員長を務めるサステナビリティ経営推進委員会の下部組織として、人権やコンプライアンスなど個別テーマを検討する会議・委員会を設置 ・リスク管理体制として、「リスク管理の基本方針」を取締役会で定め、整備・強化に努めている ・中央衛生委員会を中心とした労働衛生管理体制のもと、健康経営を推進																		○	
	40 【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・サステナビリティ経営専任部署の経営企画部およびCSR専任部署の調査広報部に於いて、社会課題解決に向けた取り組みを推進																		○	
	41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・総代会、ご契約者懇談会等でのお客様の声・ご要望の把握、改善に向けた対応の推進 ・スチュワードシップ活動における建設的な対話を実施																		○	○
42 【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・「リスク管理の基本方針」に則り、生命保険会社として社会的使命を全うするための業務継続体制を構築し、「災害時業務継続計画」等を策定										○		○		○				○		

